
三つの魔法

藤原 平城

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

三つの魔法

【Nコード】

N8770T

【作者名】

藤原 平城

【あらすじ】

三題小説。テーマⅡ【下駄、こっくりさん、花菖蒲】

「Fujiwarahaijo.com、pixivに重複投稿」

ナイラ魔法工房がいつもより息苦しく感じるのは、煮詰めた大釜から吐き出される紫色の煙のせいだけではない。

「私は買い物リストを渡したはずよね？」

目を眇めてナイラはテーブルを一瞥、その眼光のまま首をキツと振り向け、黒塗りのドアの前で震え上がっている少女を睨みつける。
「プリル、どうしてこんなくだらないモノばかり買ってきたのよ！」
「でもでもっ、東洋の珍しい魔法具ばかりだって、行商のオニイサンが言ってたですう……」

「こ・れ・が、魔法具だって言うの？」

ナイラが木の板をつかんでプリルの鼻先に突きつけると、きゅっ、とプリルは首をすくめた。小さく尖った耳も同時に伏せて、赦しを乞うべく上目づかいでナイラの顔を窺っている。

「そっ、それはっ、お天気を予言する『下駄』って道具だそうですっ」

「天気？」

紫色の瞳を大きく見開いたナイラに「試しますっ？」とプリルが胸を張る。そのまま彼女は靴を脱ぐと、華奢な素足に二つの下駄を履いてみせた。

「これから飛ばす下駄が上を向いて落ちたら晴れ、下向きだと雨だそうですっ」

「ふうん」

「よく見ててくださいね……それーっ！」

プリルの足元から勢いよく飛び立った下駄はほぼ一直線の軌道を描いて……

「ごきつ！」

……と鈍い音とともにナイラの額のほぼ中央にぶち当たった。

「ああっ、大変ですう！」

叫んだプリルの片方の足は下駄履きで、もう片方は素足。その格好で昏倒したナイラのもとへカラペタカラペタと駆け寄り、肩を抱いてゆさゆさと揺り起こす。

「ナイラさんっ！ しっかりするですう！」

「ああ、星が……星が、目からチカチカと……」

「星ってことは……ナイラさん、今夜は晴れですう！」

ようやくナイラは立ち上がり、まだじんじんと痛む額を押さえながら、

「もつと……マシな道具はないの……？」

その質問にプリルはうなずき、一枚の紙をナイラに向けて広げてみせた。

「こーんな道具もあるですう！」

「……魔方陣？」

「これは、どんな質問にもコインが答を導いてくれる『こつくりさん』って道具ですう」

紙をテーブルの上に置き、銅貨を乗せるとプリルは「この上に指を乗せるですう」とナイラを誘う。

「これでいいの？」

「はい、では……ナイラさんには恋人がいるかどうか？ こつくりさん、イケイケですう！」

「プリル！ あなたね——」

真っ赤になったナイラの意志に反して、銅貨がするすると動き出す。

えっ、と驚愕の声を発してナイラは絶句。

そしてプリルは――

「イ・ナ・イ……つまり、ナイラさんには恋人はいないですーう！」

「い、い、い………」

「どうしたんです？」

「い・ま・す・ぐ、返してきなさいっ！」

ナイラの剣幕にプリルは飛び上がり、いそいそと道具をかき集めるとイタズラ猫のように工房を飛び出していった。

「まったく、あの子はいつもいつも役立たずなんだから……あれっ？」

テーブルの上にはナイラの瞳と同じ淡い紫色の花束がひとつ。どうやらプリルが回収し忘れていったらしい。

花束をナイラが持ち上げると、中からカードがはらりと落ちた。

「花菖蒲の……花言葉は《優しい心》です……だって。ふふっ」

そうね、優しい心は大切よね。

こんなに素敵な東洋の花を、プリルは買ってきてくれたんだから。

テーブルに頬杖をついて、ナイラは花瓶を眺める。

素敵な人、どこかにいないかしら。

案外、この花束が「恋人ができる魔法の道具」だったりして――。

《了》

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8770t/>

三つの魔法

2011年10月9日06時43分発行